



# 「モビリティ・サービス系統における体制見直しについて」に対する検証の申し入れ

## 申14号2025年7月2日提出

施策実施により乗務員の駅業務融合の拡大、車掌専属行路の見直し、ワンマン列車拡大が行われました。社員の働く環境が変化する中で、安全・サービス・働きがいを守られているか不安の声が東日本ユニオンに寄せられています。

この施策をしっかりと検証し、働く労働者の労働条件を守るためにも申14号を提出しました。

1. 「モビリティ・サービス系統における体制見直しについて」に対する成果と課題を明らかにすること。

### 【ワンマン関係】

2. ワンマン列車の全ドア開扉拡大に伴い、2両目乗降の視認性について確認を行ったのか明らかにすること。

3. 多客時（テスト期間等）におけるワンマン運転に対する会社の考え方を明らかにすること。

### 【業務融合関係】

4. ステーションバイブルによる教育の成果について明らかにすること。

5. 運転士相互運用行路の長岡駅新幹線列車扱いの評価を明らかにすること。

6. 相互運用における社員の活躍フィールドの拡大に対する評価について明らかにすること。

7. 指令員・指導担当・副長による乗務業務に対する評価を明らかにすること。

8. 新潟統括センター、新潟・新津乗務室相互間における乗務行路の勤務指定方について明らかにすること。

### 【サービス関係】

9. 長岡駅におけるお客さまの放送案内等に対する新潟支社の考え方を明らかにすること。

# 東日本ユニオンに加入して労働環境を向上させよう!